

アサヌマコーポレーション株式会社

2期連続で増収を目指す

代表取締役社長 麻沼 雅海氏

前期（2022年6月期）の売上高は前年比7%増で着地となった。「今後の化粧品業界の変化を見据えた社内改革による成果」と説明する麻沼雅海社長。同社では「研究」「生産」「営業」の3部門で、今後の化粧品業界を見据えて、この数年、精力的に取り組んできた。また、今年6月には小ロット・短納期を実現する新サービスも新たに展開する等、その進化し続ける企業姿勢は顕在だ。



— 前期の動きについてから。

麻沼社長 前々期（2021年6月期）は強みのメイク、特にアイライナーやアイブロウ等の目元まわり商材をはじめ、ファンデーションや口紅等もマスク着用や外出自粛等で大きな影響を受けました。ただ、前期は目元まわり商材の強化と、今注力しているスキンケアの商品及び処方開発、そして積極的な営業提案で二桁伸長を達成しました。過去二期は非常に厳しさがありましたが、それでも今後の化粧品業界の変化を見据えた社内改革が成長の要因となりました。

— 新型コロナで消費者の化粧意識や化粧行動、情報収集や購買方法も大きく変化しています。

麻沼社長 外出自粛やテレワークの普及、マスク着用、そしてインバウンド需要の減少等、化粧品業界は厳しい環境でしたが、最も

心配したのは街や旅行を楽しむ機会が減り、メイクを楽しむシーンが減ったことです。女性にとってメイクは大切で、「メイクを楽しみたい」という欲求が発散出来ずにいたかと思います。ただ、今年に入って新規感染者数が減り、コロナ禍前のように外出を楽しむ姿が見られるようになりましたので是非多くの方にメイクを楽しんでいただきたいと思います。

— その中で「作り手」として意識しなければならないのは「ヒット商品だから」「話題の商品だから」等の理由でなく、「使ってみたい」「この商品が好き」等、自身の嗜好やニーズを優先して商品を選ぶ方が増えていることから、よりパーソナライズへの対応が重要です。

— 社内改革については、前期もかなり力を入れたと聞きます。

麻沼社長 今後も様々な変化が

ある中で、スピード感と柔軟性が大切です。そのため、「アジリティ（迅速性）」「フレキシビリティ（柔軟性）」をキーワードに、新価値の創造を目指し「研究」「生産」「営業」の3部門で、この数年改革に取り組んできました。「研究」では、2年前に新設したマーケティング部門と研究所との連携強化と、産学協同で新規性・独自性の高い商品や技術を開発。新剤型のメイクやスキンケア、フレグランス領域での高付加価値商品の開発に繋がりました。また、クレンジングバームでは国内外のメーカー様から評価をいただいた他、高機能性リキッドファンデーションやアルコールフリーのフレグランス等を開発既に商品化が進んでいます。

— 続いて「生産」では。

麻沼社長 AIを活用して自動化を図り、省人化と省力化設備の

開発・導入を行いました。今まで外部企業に設備の開発を委託していましたが、それだと工程の中で制限が生まれていたため、社内の人間も一緒に設備開発を行い、当社の考えに基づく生産作業を実現させたことで効率性を高めることができています。加えて、工程の一部には特定の人間しか出来ない作業もあり、そこもシステム化を行い誰でも作業出来るようにしています。また効率化を目的に、中国上海の現地法人「上海麻沼化粧品有限公司」でのDXに関する成功事例も取り入れることで成果へと繋げることが出来ました。

— そして「営業」ですが。

麻沼社長 大きく2つに取り組みました。一つは、メーカー様のニーズに迅速に対応出来る営業体制を目指し、IoTを駆使した営業活動に注力したこと。もう一つは、

スタートアップ企業様からの要望が多い小ロット・短納期を実現する新サービス「CHOBIX（チョビックス）」（6月開始）への取り組みです。このサービスでは、企画や商品開発等に要する時間や労力、そして小ロット生産に伴う価格デメリットを極力無くし「簡単に・素早く・小ロット」で商品をお届けさせていただきます。

— 予め用意した色や使用感、配合成分や容器等を組み合わせ、好きなデザインの商品を最短45日で1000個からお届けします。ポイントメイクの口紅やアイライナー、アイブロウやアイシャドーまで幅広いメイクカテゴリーの要望に応えつつ、短期間で納品可能というスピード感が特長で、メーカー様をはじめ、ユーチューブやインスタグラム等で活躍するインフルエンサーの方々からも「自分の



ブランドが作れる」と評価をいただいています。

— それは面白い。続いて海外展開についてお聞きします。

麻沼社長 日本の人口は減少傾向で、市場の成長性で考えると今後厳しくなるのは明らかで、メーカー様は中国やアセアンを中心に海外展開に力を入れています。当

社も欧米や中国、台湾等で活動を
 拡げ、現在海外売上は全体の3
 割近くを占めます。今後も中国
 を軸にアジア地域のメーカー様
 との取引拡大を目指します。ま
 た、三井物産ケミカルが展開す
 る海外向け化粧品開発プラット
 フォーム「J-Beauty Technology
 Platform」に参画。当社のような
 OEM・ODM企業や容器、原料等
 の各企業が参画し、日本発のオリ
 ジナル化粧品を作り、海外市場で
 展開しており、これらをキッカケ
 に新規開拓にも期待しています。

— そして今期（2023年6月
 期）も依然難しい舵取りが求めら
 れますが、その中でも取り組みや
 方向性等をお聞かせ下さい。

麻沼社長 前期は復調の兆しが
 見え始めましたが、それでも新型
 コロナやウクライナ問題で様々な
 影響を受けています。そうしたリ
 スクを鑑みつつ、化粧品市場での

存在感を高めることが大切です。
 当社ではDXを活用したビジネス
 と、グローバル戦略を推進し、更
 なる成長を目指します。当面は全
 体売上がコロナ前の水準に戻すこ
 とに注力しますが、最もこだわ
 るのは筋肉質の企業体制です。当
 社は2015年6月期から5期連続で
 売上高100億円強を達成しまし
 たが、その時と同じ方法では叶い
 ません。SDGsに取り組み、「生
 産」「研究」「営業」の3つの活動
 を磨き上げるしかありません。あ
 らゆることに取り組み、再び売上
 高100億円を目指していきます。

日本にとって化粧品産業は大き
 な財産です。そのことを世界にア
 ピールし、市場の活性化に繋げる
 ことが当社の使命で、それを実現
 させるためにも「今後の成長の原
 動力となる人材育成」「イノベー
 ションが生まれる環境づくり」「D2C
 等の新しい市場に対応したサービ

スの充実」の3つに取り組みます。

— 最後にメッセージを。

麻沼社長 近い将来、韓国や中
 国等のOEMメーカーの技術力が
 更に高まれば、アジアで「メイド
 インジャパン」の優位性を維持す
 ることが難しくなるかもしれませ
 ん。だからこそ、お客様一人ひと
 りの嗜好やニーズに合った化粧品
 の提案が重要です。「アサヌマに商
 品を作ってもらいたい」と思って
 もらうためにも提案力、商品開発
 力、生産技術を高め、メーカー様
 の要望に応えることに尽きます。

当社の経営理念の一つが「我々
 は技術立社である」で、メイクか
 らスキンケア、フレグランスまで
 の処方開発は勿論、パッケージデ
 ザインまで、そして商品企画から
 市場導入までを支援する「トータ
 ルサポート ODM メーカー」とし
 て、全社一丸で取り組んでまいり
 ます。



アサヌマコーポレーションはメーキャップをコアに、
 カラーとパッケージが融合した『造形美』を創造・提供
 する、ファインコスメティックカンパニーです。

The premier OEM / ODM manufacture of SKIN CARE,
 BASE-MAKE & MAKE-UP cosmetics.

- ◆ Makeup remover Cleansing foam Lotion Emulsion
- ◆ Powder foundation Liquid Foundation Concealer
- ◆ Eyebrow Eyeliner Eyeshadow Mascara
- ◆ Lipstick Nail polish

アサヌマコーポレーション株式会社
<https://asanumacorp.com>
 TEL 03-3383-0511 FAX 03-3383-0517
 164-0014 東京都中野区南台 3-37-19

企業DATA

会社名 アサヌマコーポレーション株式会社
 創業 1947年4月
 代表者名 代表取締役社長 麻沼 雅海
 資本金 5000万円
 従業員数 449名(2022年4月)
 事業内容 化粧品 OEM・ODM 事業/化粧品の
 企画・開発・生産等
 関連会社 麻沼総業株式会社/株式会社サウス
 ヒルデリバリー
 本社 東京都中野区南台 3-37-19
 関連施設 開発センター(東京都中野区南台
 3-46-33)、クオリティ&テクニカルセンター
 (神奈川県相模原市緑区西橋本 1-17-89)、化粧品
 研究所(神奈川県相模原市緑区橋本台 1-24-
 17)相模原工場(神奈川県相模原市緑区西橋本
 1-14-41)、相模原第二工場(神奈川県相模原市

緑区下九沢 2126)、相模原第三工場(神奈川県
 相模原市緑区下九沢 2125-2)、相模原第四工場
 (神奈川県相模原市緑区下九沢 2127-1)、上海
 麻沼化粧品有限公司 中華人民共和国 上海市
 金山区亭林鎮金騰路 1111 号 4-5 棟
 取引銀行 三菱UFJ銀行/みずほ銀行/三井
 住友銀行/りそな銀行/西武信用金庫



アサヌマコーポレーション本社